



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 ブロードマインド株式会社 上場取引所 東
コード番号 7343 URL <https://www.b-minded.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 清
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 石井 満 TEL 03 (5459) 3092
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,238	△14.5	116	38.8	119	33.6	46	80.2
2025年3月期第1四半期	1,448	40.6	83	△44.6	89	△43.6	26	△74.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 43百万円(79.8%) 2025年3月期第1四半期 24百万円(△76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	8.21	7.99
2025年3月期第1四半期	4.67	4.42

(注) 2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、「(1) 連結経営成績(累計)」における2025年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,685	3,647	77.8
2025年3月期	5,114	3,883	75.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,647百万円 2025年3月期 3,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,940	△0.4	575	24.7	567	14.0	340	96.2	59.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,899,016株	2025年3月期	5,886,816株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	205,249株	2025年3月期	165,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,713,155株	2025年3月期1Q	5,581,398株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第1四半期連結累計期間においては、米国の関税政策の見通しが不透明であった中で株式市場が落ち着きを取り戻しつつある一方で、物価については引き続き上昇傾向が続いており、生活者の中では足元の家計及び将来設計に対する不安感も益々醸成されつつあります。

経済環境や家計の「変化」をきっかけに多くのご相談をお寄せいただいたことに加え、資産形成に関する興味関心の高さ、及びマクロ経済環境の両面から資産形成に資する保険商品や投資商品については良好な販売環境にありました。

このような環境の下、コンサルティング組織の拡大を見据え、2025年4月には30名以上の新卒学生を採用し、第3四半期からの稼働開始に向けて教育・育成に注力しているほか、従業員の生産性向上を目的に、業務効率化を目的としたシステム開発等を進めております。

以上を踏まえ、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、生命保険及び金融商品仲介領域を中心に手数料収入が伸展した一方で、前期とは異なり不動産開発・販売を下半期に計画している点、人材及びシステム投資を進めたことにより、売上高1,238,361千円（前年同期比14.5%減）、営業利益116,533千円（同38.8%増）、経常利益119,671千円（同33.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益46,931千円（同80.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,201,170千円となり、前連結会計年度末に比べ390,187千円減少いたしました。これは主に販売用の不動産仕入等が進行したことにより販売用不動産が461,629千円増加、仕掛販売用不動産が241,768千円増加したものの、現金及び預金が1,026,646千円減少したことによるものであります。固定資産は1,484,804千円となり、前連結会計年度末に比べ38,294千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が減少したこと等により投資その他の資産が40,729千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,685,974千円となり、前連結会計年度末に比べ428,482千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は886,260千円となり、前連結会計年度末に比べ209,625千円減少いたしました。これは主に賞与の支給により賞与引当金が146,742千円減少、納税したことにより未払法人税等が90,315千円減少したことによるものであります。固定負債は152,037千円となり、前連結会計年度末に比べ17,150千円増加いたしました。これは主に長期借入金が19,264千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,038,297千円となり、前連結会計年度末に比べ192,474千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,647,677千円となり、前連結会計年度末に比べ236,007千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が46,931千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が240,305千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.8%（前連結会計年度末は75.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,173	956,526
売掛金	538,347	453,484
販売用不動産	450,670	912,300
仕掛販売用不動産	484,409	726,177
その他	134,759	152,684
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,591,357	3,201,170
固定資産		
有形固定資産	428,252	411,738
無形固定資産		
のれん	167,034	166,227
その他	274,559	294,314
無形固定資産合計	441,593	460,541
投資その他の資産	653,253	612,523
固定資産合計	1,523,099	1,484,804
資産合計	5,114,456	4,685,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,392	—
未払法人税等	105,598	15,282
賞与引当金	246,707	99,965
返金負債	179,600	165,889
その他	562,587	605,122
流動負債合計	1,095,885	886,260
固定負債		
長期借入金	736	20,000
資産除去債務	134,150	132,037
固定負債合計	134,886	152,037
負債合計	1,230,772	1,038,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,196	650,060
資本剰余金	548,196	550,060
利益剰余金	2,816,689	2,623,315
自己株式	△132,663	△176,020
株主資本合計	3,880,420	3,647,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	169
その他の包括利益累計額合計	108	169
新株予約権	120	114
非支配株主持分	3,035	△22
純資産合計	3,883,684	3,647,677
負債純資産合計	5,114,456	4,685,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,448,743	1,238,361
売上原価	262,191	3,823
売上総利益	1,186,552	1,234,538
販売費及び一般管理費	1,102,582	1,118,005
営業利益	83,969	116,533
営業外収益		
受取利息	0	23
持分法による投資利益	5,237	2,821
その他	647	683
営業外収益合計	5,884	3,529
営業外費用		
支払利息	14	93
株式交付費	217	97
支払保証料	20	91
自己株式取得費用	—	108
営業外費用合計	252	390
経常利益	89,602	119,671
特別損失		
減損損失	25,448	—
事業譲渡関連費用	—	9,737
その他	311	—
特別損失合計	25,760	9,737
税金等調整前四半期純利益	63,841	109,933
法人税、住民税及び事業税	17,350	6,472
法人税等調整額	22,100	59,587
法人税等合計	39,451	66,060
四半期純利益	24,390	43,873
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,659	△3,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,049	46,931

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	24,390	43,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	61
その他の包括利益合計	44	61
四半期包括利益	24,434	43,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,093	46,992
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,659	△3,057

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識基準の変更)

当社グループにおける生命保険代理店手数料及び損害保険代理店手数料については、顧客のニーズに応じて、保険会社に対し保険契約の取次を行う義務と、取り次いだ保険契約の維持保全管理を行う義務を負っております。

従来、保険契約から見込まれる履行義務に応じた代理店手数料の金額を収益として認識しておりましたが、当連結会計年度より、履行義務が充足した保険契約から獲得される確定した代理店手数料の金額を収益として認識する方法に変更いたしました。

この変更は、近年の著しい為替相場の変動を勘案し、主に為替相場の変動の影響を受ける外貨建保険契約に係る売上高等の管理方法の見直しを行い、業務プロセスが整備されたことを契機として収益認識基準を検討した結果、履行義務が充足した保険契約から獲得される確定した代理店手数料の金額を収益として認識する方法が経済的実態をより適切に反映することができると判断し、行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ21,727千円減少、1株当たり四半期純利益は3円89銭減少、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は3円68銭減少しており、前連結会計年度の売掛金は321,048千円増加、契約資産は574,673千円減少、契約負債は194,255千円減少、返金負債は13,000千円増加、利益剰余金は72,369千円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は14,021千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、フィナンシャルパートナー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、フィナンシャルパートナー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	18,450千円	18,185千円
のれんの償却額	8,213	806